

月経をめぐる生理現象、文化的慣習、開発課題の狭間で



(Source: <http://menstrualhygieneday.org>, Youth's Voice Bangladesh for Menstrual Hygiene Day, 2015 through WASH United 2015)

日時：平成30年 7月 5日 (木)

15:00 ~ 16:30 予定

場所：大阪大学大学院人間科学研究科
北館2Fラーニングコモンズ

講師：杉田 映理 准教授

(大阪大学大学院人間科学研究科 グローバル共生学講座 国際協力学)



皆さんは、月経（生理）にどう対処するかという一見きわめてプライベートな問題が、国際開発の課題として取り上げられていることをご存知でしょうか。月経は、人間(ヒト)の女性の身体におきる一般的な生理現象である一方、それぞれの社会によって月経の捉えられ方は多様であり、ローカルな文化・慣習が存在します。世界各地で形は異なりながらも、月経中の女性や経血に対するケガレ感は強く、月経をめぐるタブーが多く地域で見られます。本セミナーでは、月経をいろいろな角度から見てみた上で、月経がなぜ国際開発の課題とされているのかを紹介します。さらに、私自身が調査対象としているウガンダにおける月経を巡る状況を、開発がどのような形で入ってきているのか、どのようなことが懸念されるのか、お話ししたいと思います。(杉田先生より)

